

平成 31 年 日本医学放射線学会定期総会（代議員会）議事録

平成 31 年 日本医学放射線学会定期総会（代議員会）議事録

日 時 : 平成 31 年 4 月 11 日 (木) 14:00~16:30
場 所 : パシフィコ横浜 会議センター 301 室
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
議 長 : 理事長 今井 裕

議 案

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告および庶務報告について
第 2 号議案 平成 30 年度会計書類承認について
第 3 号議案 平成 31 年度事業計画および収支予算書の報告について
第 4 号議案 次々々期（第 81 回）日本医学放射線学会総会会長選任および来年度
（第 56 回）日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長選任について
報告事項 平成 31 年名誉会員について
平成 30 年度各賞について
理事会提案事項 2020 年度からの消費税の外税化について
委員会報告事項 日本医学放射線学会の「医用画像に関する人工知能 Artificial Intelligence
(AI) への取り組み」について

代議員 252 名中、委任状を含めた出席者数は 237 名で、本会は成立することが確認された。
定款第 20 条の規定により今井裕理事長が議長となり、議事録記名人に陣崎雅弘君と阿部修君
が指名された。会議に先立ち平成 30 年度物故者 19 名に対して黙祷が捧げられ、第 78 回日本
医学放射線学会総会山下康行会長の挨拶後、議事の進行に入った。

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告および庶務報告について

富山憲幸（庶務担当）理事が、平成 30 年度事業報告および庶務報告について説明を行った。

A. 事業報告

1. 学術講演会の開催

第 77 回総会を会長今井裕主宰のもとに平成 30 年 4 月 12 日～15 日の 4 日間、パシフィコ
横浜（横浜市）において開催。第 54 回秋季臨床大会を大会長村山貞之主宰のもとに平成
30 年 10 月 5 日～7 日の 3 日間、福岡国際会議場において開催。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

日本医学放射線学会雑誌 Japanese Journal of Radiology Vol. 36 No. 1 より逐次刊行した。

3. 第 29 回放射線科認定医認定試験を施行した（平成 30 年 8 月 17 日）。

第 27 回放射線診断専門医認定試験を施行した（平成 30 年 8 月 17 日、18 日）。

第 27 回放射線治療専門医認定試験を施行した（平成 30 年 8 月 17 日、18 日）。

第 7 回放射線科専門医認定試験を施行した（平成 30 年 8 月 17 日）。

4. 関連学術集会

地方会（各地方毎に年数回）、第 47 回断層映像研究会、第 32 回胸部放射線研究会、第 31 回頭頸部放射線研究会、第 30 回日本骨軟部放射線研究会、第 28 回日本救急放射線研究会、第 31 回電子情報研究会、第 87、88 回日本心臓血管放射線研究会、第 20 回医用画像認知研究会、第 38 回神経放射線ワークショップ、第 55 回アイソトープ・放射線研究発表会等を開催あるいは共催した。

B. 庶務報告

1. 平成 30 年定期総会（代議員会）開催月日および場所

第 77 回総会（代議員会）を平成 30 年 4 月 12 日、パシフィコ横浜会議センター 301 室で行った。

2. 理事会、監事会、委員会開催

理事会は平成 30 年 3 月 22 日、4 月 12 日、4 月 15 日、5 月 24 日、6 月 25 日、7 月 19 日、8 月 18 日、9 月 10 日、10 月 5 日、11 月 15 日、12 月 20 日、平成 31 年 1 月 17 日、2 月 21 日の計 13 回行った。また監事会は 1 回行った。

委員会等は放射線科専門医制度委員会 3 回、教育委員会 2 回、編集委員会 2 回、学術・研究委員会 1 回、診療・ガイドライン委員会 2 回、医療安全管理委員会 1 回、放射線安全管理委員会 2 回、造影剤安全性委員会 1 回、倫理委員会 1 回、電子情報委員会 2 回、保険委員会 2 回、用語委員会 1 回、広報委員会 1 回、QIBA（定量画像の標準化）委員会 1 回、医用画像人工知能委員会 1 回、ダイバーシティ推進・働き方改革検討委員会 1 回、を行った。

3. 現在会員数（平成 31 年 2 月末日現在）

平成 29 年度末会員	9,511 名
平成 30 年度末会員	9,693 名（新入会員数を含む）
平成 30 年度新入会員	261 名
平成 30 年度退会者	79 名
平成 30 年度物故会員	19 名
平成 30 年度団体会員	67 社（購読会員含む）

4. 第 31 回優秀論文賞授賞者の選定を行った。

5. 板井研究奨励賞、日本医学放射線学会 Bayer 研究助成、栗林研究奨励賞、JJR 研究継続奨励賞の選定を行った

6. 関連学術団体との連絡協調

日本医学会、日本医学会連合、内保連、外保連、日本医師会疑義解釈委員会、日本専門医機構、放射線治療品質管理機構に委員を派遣すると共に、医学発展のための各種問題につき相互に連絡をとった。

第 2 号議案 平成 30 年度会計書類承認について

A. 平成 30 年度会計書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）の承認について（別表 1）

金澤右（会計担当）理事より、公益社団法人日本医学放射線学会定款第 45 条第 2 項に基づき会計書類のうち「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「財産目録」について説明がなされた。

続いて長縄慎二監事より、事業、会計等が問題無く実施されている旨の監査報告がなされた。以上の報告を受け、議長今井裕理事長が平成 30 年度会計書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）の承認について議場に諮り、一同異議無くこれを承認した。

B. 平成 30 年度収支計算書について（別表 2）

金澤右（会計担当）理事より、平成 30 年度収支計算書について説明がなされた。

収支計算書は公益社団法人化に伴い作成が義務付けられている会計書類からは除外されているが、以前からの会計報告との連続性に鑑み報告された。

第 3 号議案 平成 31 年度事業計画および収支予算書の報告について

議長今井裕理事長より、当法人は平成 24 年 3 月 1 日より公益社団法人となり、事業計画および予算について、公益社団法人日本医学放射線学会定款第 43 条により理事会の承認を受けたのち、内閣府に事業年度開始日の前日までに報告しなければならないことになっているため、平成 31 年度の事業計画および収支予算書については、平成 31 年 2 月 21 日開催の理事会で承認され、平成 31 年 2 月 26 日に内閣府に提出している旨の報告がなされた。

続いて富山（庶務担当）理事より、平成 31 年度事業計画について説明がなされた。

A. 事業計画

1. 学術講演会の開催

第 78 回総会を会長山下康行主宰のもとに平成 31 年 4 月 11 日～14 日の 4 日間、パシフィコ横浜（横浜市）において開催。第 55 回秋季臨床大会を大会長外山宏主宰のもとに平成 31 年 10 月 18 日～20 日の 3 日間、ウインクあいち（愛知県産業労働センター）において開催。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

名称	Japanese Journal of Radiology (Vol. 37)
型	A4
頁数	約 1200 頁 / 年
刊行回数	毎月 25 日発行 (年 12 回)
部数	約 9,200

3. 第 30 回放射線科認定医認定試験を施行（平成 31 年 8 月 23 日）

第 28 回放射線診断専門医認定試験を施行（平成 31 年 8 月 23 日、24 日）

第 28 回放射線治療専門医認定試験を施行（平成 31 年 8 月 23 日、24 日）

第 8 回放射線科専門医認定試験を施行（平成 31 年 8 月 23 日）

4. 優秀論文賞受賞者の選定、板井研究奨励賞受賞者の選定、栗林研究奨励賞受賞者の選定、日本医学放射線学会 Bayer 研究助成金の選定、JJR 研究継続奨励賞の選定を行う

5. 関連学術集会

地方会（各地方毎に年数回）、第 48 回断層映像研究会、第 33 回胸部放射線研究会、第 32 回頭頸部放射線研究会、第 31 回日本骨軟部放射線研究会、第 29 回日本救急放射線研究会、第 32 回電子情報研究会、第 89、90 回日本心臓血管放射線研究会、第 21 回医用画像認知研究会、第 39 回神経放射線ワークショップ、第 56 回アイソトープ・放射線研究発表会等を開催あるいは共催する。

B. 平成 31 年度収支予算書について（別表 3）

金澤（会計担当）理事より、平成 31 年度の収支予算書について説明がなされた。

第 4 号議案 次々々期（第 81 回）日本医学放射線学会総会会長選任および来年度（第 56 回） 日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長選任について

議長今井裕理事長より、次々々期（第 81 回）日本医学放射線学会総会会長として、村上卓道君（神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線診断学分野教授）1 名の立候補があり、会長として推薦する旨の報告が議場になされ、一同異議無くこれを承認した。

続いて議長今井裕理事長より、2020 年（第 56 回）秋季臨床大会大会長として、2020 年度地区担当の北日本地方会より理事会に対し青木昌彦君（弘前大学医学部放射線科学講座教授）が推薦されたことから、大会長として推薦する旨の報告が議場になされ、一同異議無くこれを承認した。なお、被選任者兩名は、席上その就任を承諾した。

報告事項

A. 平成 31 年名誉会員について

議長今井裕理事長より、平成 31 年国内名誉会員として栗林幸夫君、竹田寛君、田村正三君を、海外名誉会員として James A. Brink, M.D. (Massachusetts General Hospital, USA)、Jelle Barentsz, M.D. (Radboud University, Netherland)、Ho-Young Song, M.D. (Asan Medical Center, South Korea) を推薦したい旨の報告が議場になされ、一同異議無くこれを承認した。なお平成 31 年国内名誉会員に承認された 3 名は、登壇しその就任を承諾した。

B. 平成 30 年度各賞について

平成 30 年度各賞について、以下のとおり報告がなされた。

・優秀論文賞

佐藤浩央 君（群馬大学 重粒子線医学推進機構 重粒子線医学研究センター）

福富 光 君（京都大学医学部附属病院）

上嶋英介 君（神戸大学医学部附属病院 放射線診断・IVR 科）

・J J R 研究継続奨励賞

加藤博基 君（岐阜大学医学部放射線科）

北島一宏 君（兵庫医科大学放射線医学教室）

・Best reviewer award

河野 淳 君（国立循環器病研究センター病院放射線部）

・Most often cited paper award

田岡俊昭 君（名古屋大学医学部附属病院放射線科）

・Excellent reviewer award

大西裕満 君（大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座放射線医学）

川波 哲 君（国立病院機構小倉医療センター 放射線科）

久保田一徳君（東京医科歯科大学医学部附属病院放射線診断科）

佐竹弘子 君（名古屋大学医学部附属病院放射線部）

田波 穰 君（埼玉県立小児医療センター放射線科）

中島崇仁 君（群馬大学医学部附属病院放射線部）
中村優子 君（広島大学放射線診断学）
堀 正明 君（順天堂大学医学部放射線診断学講座）
山口 健 君（佐賀大学医学部放射線医学講座）
與儀 彰 君（琉球大学医学部附属病院放射線部）

・板井研究奨励賞

小森隆弘 君（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科放射線科学）
井上明星 君（東近江総合医療センター放射線科（滋賀医科大学放射線医学講座））

・Bayer 研究助成

伊藤倫太郎君（名古屋大学医学部附属病院放射線部）
上嶋英介 君（神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科）
児玉大志 君（兵庫医科大学放射線医学講座）
藤岡友之 君（東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 画像診断・核医学分野）
福永久典 君（東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野）

・栗林研究奨励賞

（心臓血管放射線画像診断領域として）
山崎誘三 君（九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野）
（IVR 領域として）
市橋成夫 君（奈良県立医科大学放射線科・IVR センター）

理事会提案事項

2020 年度からの消費税の外税化について

金澤右（会計担当）理事より、2019 年 10 月より予定される消費税増税に伴い、日本医学放射線学会の活動費用も増加が見込まれ、支出の増加による財政の悪化が懸念されるため、2020 年度（2020 年 3 月）より、消費税が課税される各種収入の消費税につき、外税（税抜き）にすることを提案がなされた。

議長今井裕理事長がその承認について議場に諮り、一同異議無くこれを承認した。

なお、年会費は消費税不課税である為、現在の価格を据え置くこととした。

委員会報告事項

日本医学放射線学会の「医用画像に関する人工知能 Artificial Intelligence (AI) への取り組み」について

青木茂樹副理事長、【医用画像人工知能委員会】委員長、【日本医用画像人工知能研究会】担当理事より、人工知能、特に医用画像における社会および学会員からの関心の高まりと期待を受け、日本医学放射線学会としての取り組み（組織、体制、ハンズオン／チュートリアル等の具体的な活動）について報告がなされた。

以上により平成 31 年日本医学放射線学会定期総会（代議員会）は終了した。